

くらしの道具を直す・つくる

大切にすることでうまれる価値がある～木製品の修理・再生ワークショップ

2018年 9月30日(日) 13:00～16:00

「大事に使ってきたのに捨てるのは悲しいなあ」「修理できたらまだ使えるのになあ」と思ったことはありませんか？

今回、くらしの道具を“直してつかう”ワークショップを開催します。

修理するのは、大切な食の道具である、箸やスプーン。そして直すだけでなく、箸を自分の手で作ってみましょう！

教えて下さるのは、木の国・岐阜県美濃で木工を学び、木製品の修理・リメイクを研究テーマとしている宮崎晋さん。モノを長く活かす知恵、自分で作り出す知恵と共に、木と日本人のつながりも学びましょう。



講師：宮崎晋(みやざきすすむ)氏

1958年大阪府生まれ。京都精華大学美術学部卒業。中学校、特別支援学校で32年間美術教師を務めた後、岐阜県立森林文化アカデミーにて木工を学び、木製品の修理・リメイクに取り組む。

いまの時代、こわれたものを修理してくれるところがほとんどなくなりました。新しく買ったほうが費用も時間もかかりません。しかし、すぐにするには「モッタイナイ」と修理するのが当たり前であった時代を経験した私は、そのことによって、人が失ってしまったものがあるように感じています。何度も修理を繰り返して道具を使っていた時代は人とモノとの関係はもっと親密で、家族の一員のようなものだったと思います。このワークショップでは、傷んで使えなくなった木製品を修理します。修理に必要な知識や技術をお伝えすることとともに、日ごろ自分が使ってきたものに、修理という時間を通して更に好きになっていただけたら幸いです。(宮崎晋)

Before

長く愛用した木の箸。とうとう先が折れてしまった。残念だなあ。まてよ。いい方法がある。



After

長さをそろえ、塗料を一度はがし、キヌカオイルで仕上げてみた。サンドペーパーをかけて初めてわかる。ヒノキでできていたんだ！



Miyazaki Susumu

日時：9月30日(日) 13:00～16:00

会場：昭和のくらし博物館 座敷
東京都大田区南久が原2-26-19
東急池上線久が原駅または
東急多摩川線下丸子駅より徒歩8分

参加費：1,500円
(材料費、入館料込み・お茶お菓子付き)

内容：木製品の手入れと修理についてのお話と実作業
身近な材料を使って自分だけのマイ箸も作ります

持ち物：修理したいもの(箸、スプーンなど)・汚れてもよい服装
*修理品についての詳細はお問い合わせください(無い方にはご用意します)

定員：5名(要予約・定員に達し次第メ切)

申込：下記をそえて、メール・FAX・電話にてお申込み下さい
氏名/住所/電話番号/メールアドレス/年齢/修理したいもの

問い合わせ・申し込み：昭和のくらし博物館

mail@showanokurashi.com

03-3750-1808(金・土・日・祝日(10:00～17:00))



登録有形文化財

昭和のくらし博物館

大田区南久が原2-16-19

電話 03-3750-1808

開館 金・土・日祝日

10:00～17:00

www.showanokurashi.com

昭和26年建築の木造2階建の庶民住宅と家財道具を保存し丸ごと公開している博物館。
昭和30年前後のくらしの常設展示・企画展・特別展の他、くらしを考える講座を随時開催。

